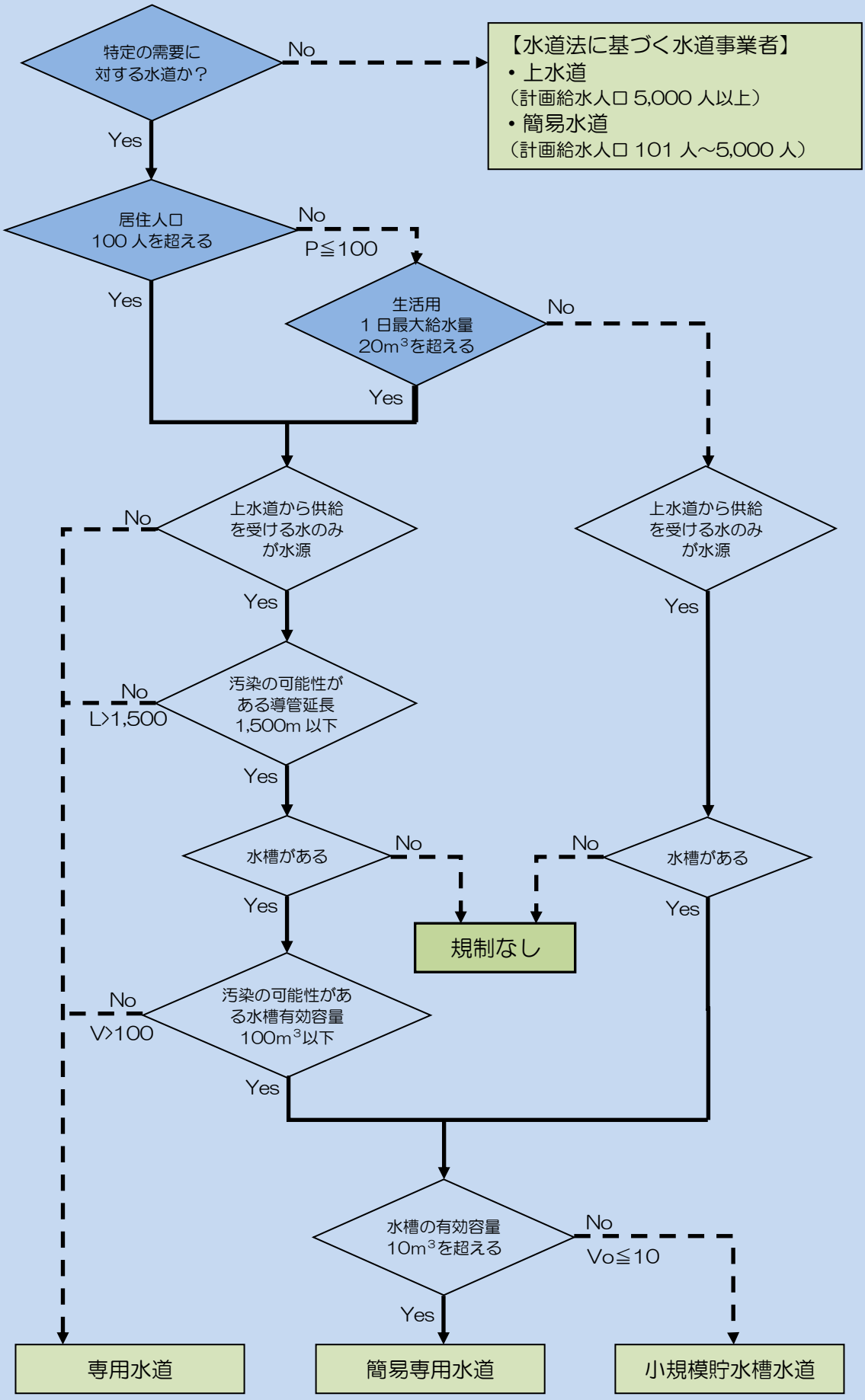
専用水道・簡易専用水道・小規模貯水槽水道　適用判断



専用水道の適用除外の詳細

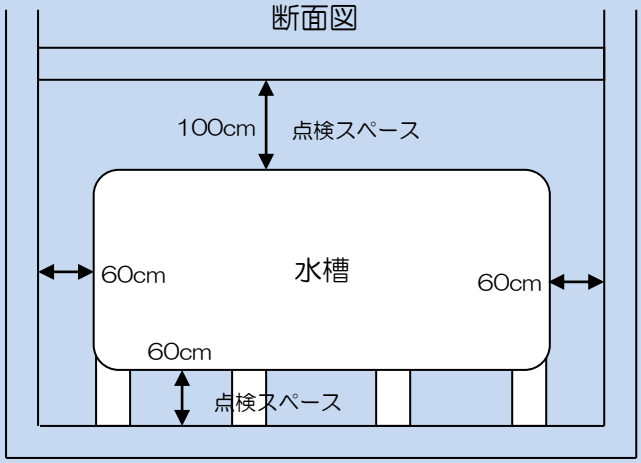
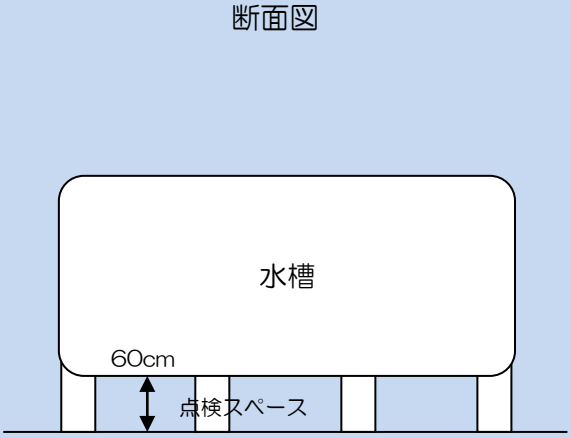
以下に示す施設については、地表からの浸水等による汚染のおそれのないように設置されているものと考えます。

１．建築物に設けられた給水管で、建築基準法施行令第129 条の2 の5 及び「給排水の配管設備を安全上及び衛生上支障のない構造とするための基準（建設省告示第1597 号）」（以下、「政令等」という。）に基づき設置された給水管

２．政令等に基づき設置された給水タンク及び貯水タンク（以下、「水槽」という。）で、保守点検を容易にかつ安全におこなうために、水槽の周囲及び下面において60cm 以上、上部において100cm 以上の点検スペースがある水槽

【点検スペース概要図】

建物内部の場合



建物外部の場合